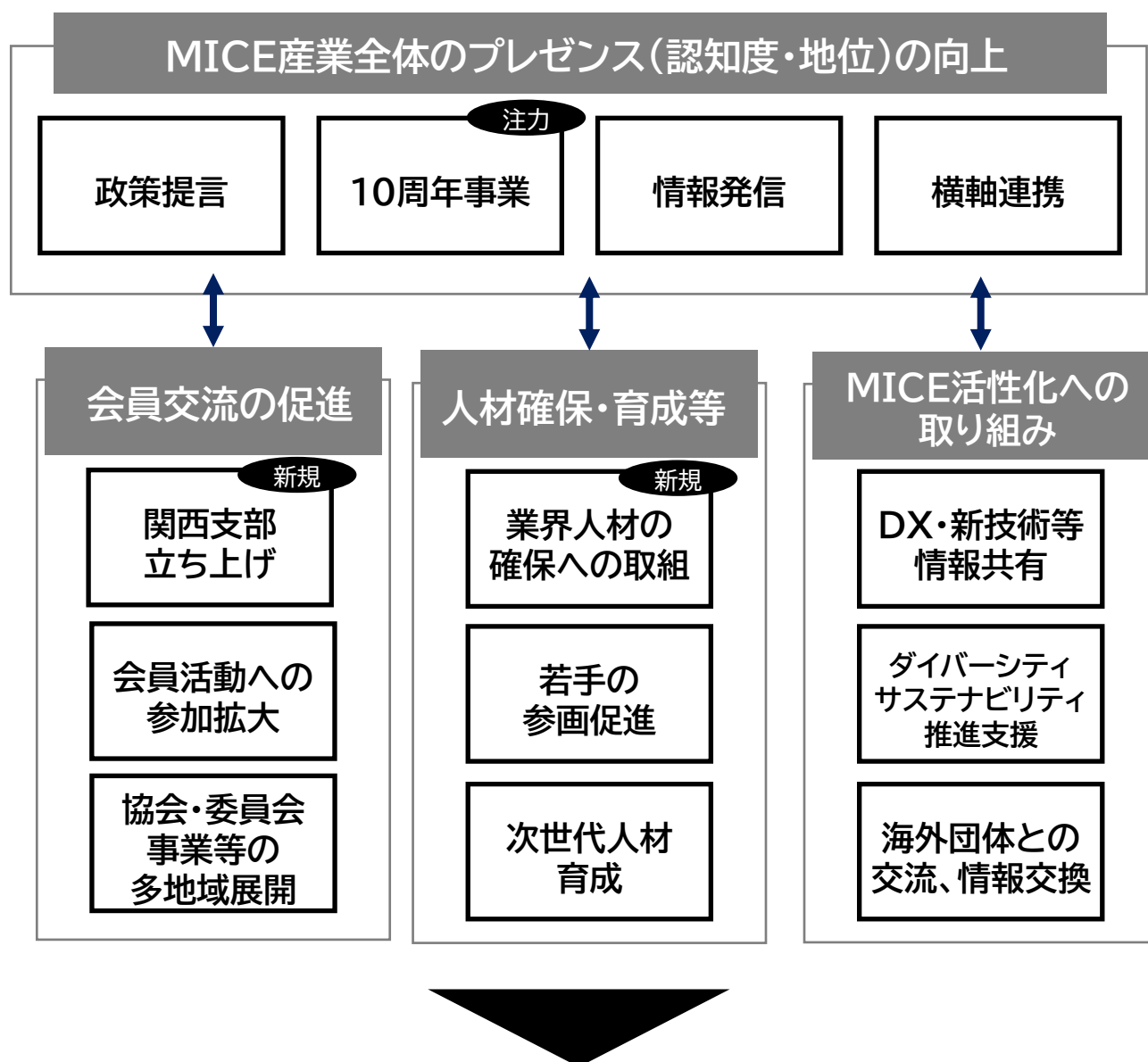


JCMA2025年度活動方針

2025年度、JCMAは設立10周年の節目の年を迎える。JCMA中期計画(2022-2026年度)も踏まえ、MICE産業全体のプレゼンス向上をはかることを大きな方向性とし、3つの柱によって、大きく変わる市場環境に対応し、持続可能な、さらに活き活きと活躍できる業界であり続けるための取り組みを推進する。

JCMA10周年。未来へのチャレンジ！



次の10年・その先を見据え、持続可能な、さらに活き活きと活躍できる業界へ

活動方針の詳細

MICE産業全体のプレゼンス(認知度・地位)の向上

- ①MICE振興に資する施策の新設・強化・継続へ向けた働きかけ
 - ・観光庁をはじめとした中央省庁、経済界、メディア等への政策提言の継続実施
 - ・自治体等によるMICE関連施策検討のための協議会、有識者会議、専門部会等の場へ積極的に参画・活用し、業界全体の盛り上げにつながるよう発信を行う
 - ・国際観光旅客税、自治体の宿泊税など新たな財源を、会員の事業環境の整備へとつなげることで、規制緩和や人材育成・設備投資等を促進する補助金、各種助成制度の拡充などの実現に向けた活動を行う
- ②10周年事業の実施
 - ・10周年として大阪での総会および記念事業を実施。大阪・関西万博視察等も盛り込む
 - ・今後につながる自主事業等を検討する
- ③情報発信の強化
 - ・認知度向上、会員連携を含め、情報発信の強化を継続
 - ・業界内はもとより、社会に向けた発信の拡大を検討
 - ・10周年をはじめ、発信の機会を最大限に活用する
- ④MICE関連団体との連携による業界全体としての影響力の拡大
 - ・MICE関連の各団体との引き続きの連携により、MICE認知の拡大、課題への取り組みを促進
 - ・関係諸団体との共同企画の実施や連名によるプレスリリースなど、発信力増大を目指す

会員交流の促進

- ①関西支部の立ち上げ
 - ・10周年を機に、関西支部を立ち上げ、活動を開始する
- ②機会提供と働き掛け強化による会員活動への参加拡大
 - ・各種事業へ参加の少ない会員企業ならびにその従業員に積極的にアプローチし、協会活動への参加を促進
 - ・会員間のビジネスマッチング機会の拡充に取り組む
 - ・活動の外部への積極的な情報発信により、ビジネスチャンスを得られる業界団体であるとの認知を高める
 - ・委員会事業を活用した積極的な会員勧誘活動を展開し、会員拡大につなげる
- ③協会・委員会事業での積極的な多地域展開と地域関係者の巻き込み強化
 - ・委員会活動について、首都圏以外の地域での開催を積極的に検討
 - ・特別会員であるコンベンション・ビューロー等との連携により、地域色や会員と地域との交流性の高いプログラムを推進
 - ・各地での実施にあたっては、会員外(開催地のコンベンション・ビューロー等の賛助会員等)への訴求を高め、各地域からの会員拡大に努める

人材確保・育成等

①業界人材の確保への取り組みの具体化

- ・業界全体の喫緊の課題である人材確保へ向け、リクルート全般につながる各種企画等を検討するプロジェクトチームを検討
- ・各種委員会事業とも連携しながら、横断的に人材確保に資する取り組みを推進
- ・MICE関連団体等による既存のリクルート関連イベントとも連携を検討
- ・各大学のキャリアセンターや大学コンソーシアム等、リクルートの情報発信につながるリレーションの構築、講座の実施などを目指す

②若手人材の委員会活動への参画促進

- ・次世代人材(若手メンバー)に、活動への積極的な参画の働き掛け
特にJCMA企画に参加したことのない会員企業内の若手メンバーへのアプローチの強化
- ・JCMA催事等での若手人材の登用、活躍の場の創出(登壇や司会等の役割)

③委員会事業における次世代人材育成の取り組みを深化

- ・デジタル、ダイバーシティ、サステナビリティ、グローバルなどの若手人材に訴求するテーマで、提案力などスキルアップにつながる企画により、人材育成を強化
- ・MICE関連4団体との連携も活用し、多様な職種、人材が接点をもち、気づきを得られる企画を展開し、人材定着を図る

MICE活性化への取り組み

①DXや最新技術で業界全体の付加価値向上や会員企業の業務効率化を促進

- ・委員会事業などを通して、各社が提供・活用するDXや新技術に関する情報の共有を行う
- ・協会・委員会事業の場などで、積極的に会員企業のDXテクノロジーや最新技術を活用し、業界全体として技術活用を促進するとともに各事業をビジネスマッチングの場として有効活用する

②ダイバーシティ・サステナビリティに関する取り組みの推進を支援

- ・会員のダイバーシティ・サステナビリティに関する取り組みの情報共有を進める
- ・会員の取り組みについて、ウェブをはじめ、発信に努める
- ・MICE主催者となる企業や団体・組織や経済団体などへ活用を働きかけ、業界全体としてダイバーシティ・サステナビリティを積極的に推進していることを訴求
- ・総会や委員会活動等では、サステナビリティガイドブックの項目のうち3項目以上を目安に実践

③海外MOU団体との交流、情報交換

- ・海外MOU 団体との情報共有・交流を通じ、海外における先進的な取り組み(MICEテクノロジーやサステナビリティ、レガシー効果等)の把握を行い、政策提言等に活用
- ・国際的な取り組みを業界内共有。可能な取り組みを促し、国際競争力強化につなげる